



公益  
社団法人 京都府放射線技師会

# 京放技ニュース

3 / 2018  
(通算 694 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbx.kyoto-inet.or.jp  
ホームページアドレス <http://www.kyohogi.jp/>

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ)キョウトフホウシャセンギシカイ

## 今年度も「振り返り」

公益社団法人京都府放射線技師会 副会長 原口 隆志

まだまだ寒い日が続き、会員の皆様におかれましては辛い通勤、また日常業務では忙しく活躍されているとおもいますが如何でしょうか？

さて、3月といえば年度末で締めの日でもあります。昨年度でもありましたが、今年度も技師会行事の一部と私事も含め、振り返ってみたいと思います。

まず、「法律改正に伴う統一講習会」ですが、今年度は4月より開催し、4月には南地区の京都医療センターでの講習を試みてみました。7月は両丹地区、10月、1月は市内と京都府内で広域の開催としてみました。

只、この講習も3年目となり、前年度よりも受講者数はやはり減少傾向となりました。現在京都府では累計で300弱の受講者となっており、会員の6割弱となっています。

しかし、本来は法改正によるもので全技師を対象としており、そうすると非会員も含めると京都府ではまだ、3割しか受講していないこととなります。医療安全を含め、将来の私達の診療放射線技師が医療の中で必要な業種であり続け、厚生労働省や国民に認められるようにしていくためにはできるだけ全ての技師に講習を受けていただく必要があると思っています。来年も開催を予定していますので、老若男女問わずまだ未受講の技師の方は必ず受講してほしいものです。この終了証は免許の一部と同等と思って受講して下さいますようお願いいたします。

そして、今年度も様々な講習会や行事も行ってきました。日放技の講習では、「X線CT検査」「フレッシューズセミナー」を行い、日々業務についてからは改めてかつ、まとめて行うことのできない基礎学習が出来、概ね好評で参加者も遠方の方もおり、多くの参加で行う事が出来ました。来年度は、「一般撮影」「看護学(実習)」「フレッシューズセミナー」を予定していますので、多くの参加を期待しています。

京都府主催の研修会におきましては、学生参加や講演、発表など様々な形式での研修を行っていきました。今後とも会員の皆様の業務に役立ち、質の向上の一助となるよう引き続き企画していきますので、是非とも参加をお待ちしています。また、その中でも、2月の学術大会では、テーマを「いつまでも元気に“歩く”ために」とし、健康寿命についての公開講座では一般府民の101名と非常に多くの参加を得、その後の演題発表にも多くの参加があり、盛況に終わる事が出来ました。企画運営広報にご協力していただきました理事・委員の皆さまには感謝申し上げますと共に、来年度以降も、さらに多くの会員参加で活発に情報交換を行えるよう、また技術や知識の向上に役立てるよう企画していきたいと思っています。

また、その他にも原子力災害における防災訓練や、講習会等の参加や、京都府医師会・京都府・京都市等主催の「くらしと健康展」の参加など、その他にも多数の行事を行うことができました。これらの行事を継続するにあたり、より幅広い会員に協力、参加していくよう努めていく事が、課題となるかと思っています。

技師会の運営には、上記のような行事のほか、庶務・組織・厚生・編集・情報や各地区の理事や委員により、様々な事が行われていますが、さらに盛り上げ続けていくには新しく会務に携わっていただける会員を増やすことが、重要かと思っています。

よく会費等、いわれる方もいらっしゃいますが技師会に携わることで色々な施設の会員とつながることもでき、講習会等の行事に参加し、自己研鑽したりで、会費以上のものもあるのではないのでしょうか？

来年度は、さらに「70周年記念式典」を予定していますし、再来年は「近畿地域放射線技師会学術大会」が控えています。会員のご協力が必要となりますのでよろしく願いいたします。

また私事としては、今年度も様々な出来事の遭遇(火事)や経験を積むことができました。また、途中より新しい職場となりました、幾つかの職場を経験しましたが、それぞれに考え方ややり方に違うところがあるんだなと実感し、慣れるのに非常に苦労しました。徐々に自分の今の職場での役割について前向きに見れるようになってきました。まだまだではございますが、職場の質の向上が出来るよう取り組んでいきたいと思っています。

技師会の会務におきましては、さらに技師会が盛り上がるよう理事はじめ委員や会員の皆さんと頑張っ取り組んでいきたいと思っていますのでよろしく願いいたします。

以上、簡単ですが今年度も「振り返り」してみました。まだ学遊会(BBQ)など残っている行事もあるので、盛り上げていきたいと思っています。会員の皆様もぜひとも学遊会(BBQ)へ申し込み、参加よろしく願いいたします。

## 小倉名誉会員を偲んで

公益社団法人京都府放射線技師会会長 河本 勲則

平成 30 年 1 月 30 日、小倉佐助名誉会員がご逝去されました、会を代表して謹んでお悔やみを申し上げます。小倉名誉会員は昭和 25 年当会に入会され、昭和 28 年から幹事（理事）を 14 年間、昭和 40 から副会長、昭和 45 年から会長に就任され 24 年間の長きにわたり当会の発展と診療放射線技師の地位向上に多大な貢献をされました。

小倉名誉会員の多くの功績に対し、昭和 48 年に京都府知事表彰、昭和 52 年には厚生大臣表彰を受賞されています。近年は、名誉会員として当会の記念式典や学術大会、研修会に参加をしていただき、通常総会では、様々なご意見を発言されていました。在りし日の笑顔で元気な小倉名誉会員を偲んで心より、ご冥福をお祈り申し上げます。 合掌



平成 27 年 7 月のフレッシュ診療放射線技師の集いにて乾杯の音頭をとる小倉名誉会員  
これが公の場でお見かけした最後でした

名誉会員 井ノ崎 光彦

平成 30 年 1 月 30 日、技師会事務所の森永さんより小倉先生ご逝去の Fax をいただき只々驚き、にわかには信じられませんでした。

実は 1 月中旬にご子息の小倉明夫氏よりハガキを頂戴し、昨年の夏頃より認知症が進み今後の挨拶は控えさせていただきます、という連絡を受けた直後でした。

私が小倉先生に初めてお逢いしたのは、昭和 39 年の病院実習が最初でした。当時は、胸部断層撮影や気管支鏡検査など精力的に携わっておられ、我々実習生にも丁寧に指導していただいた記憶があります。

小倉先生の京都府放射線技師会の活動としては、昭和 28 年から昭和 38 年まで 11 年間と昭和 41 年から昭和 42 年の 2 年間、合計 13 年間幹事として、また昭和 40 年と昭和 43 年から昭和 44 年の 2 年間合計 3 年間副会長として、よく昭和 45 年から昭和 48 年まで 4 年間会長として、昭和 55 年役員名称変更に伴い幹事から理事になってから昭和 59 年から 62 年まで 4 年間理事として合計 24 年間京都府放射線技師会に携わってこられ、この間昭和 30 年には技術学会及び技師総会が京都で開催され準備委員として中心となって活躍され、昭和 48 年には会長として創立 25 周年記念事業と「25 年史」を発刊された。また昭和 49 年には京都府放射線技師会と学会京都支部の分離検討委員会の委員長として活躍された。

私が昭和 59 年に地区理事として技師会の役を仰せつかった時、4 年間と一緒に技師会活動をさせていただきました。これより後、私が技師会のお世話をさせていただいている間、毎月の研修会や様々な行事にほとんど参加いただき、全国学術大会にはご婦人同伴で参加されている姿をしばしばお見受けし、技師会に対する敬愛の深さを実感しました。

最後に、小倉佐助名誉会員に対し哀悼の意を捧げご冥福をお祈り申し上げます。

名誉会員 四井 猛士

本会の元会長で名誉会員の小倉佐助先生が、平成 30 年 1 月 30 日永眠されました。享年 95 歳でした。昭和 24 年からお亡くなりになるまでの 69 年間、京都府放射線技師会の会員として、また役員として多大なる貢献をされてきました。ここに心からご冥福をお祈り申し上げます。

小倉佐助名誉会員は、理事を多数年・副会長を昭和 40 年と昭和 43 年から昭和 44 年の 3 年・会長を昭和 45 年から昭和 48 年の 4 年間・監事を複数年と長年にわたり要職に携わり、京都府放射線技師会の発展に尽力され、重要な役割を担ってられました。

私と小倉先生のお付き合いは、昭和 39 年に私が山口県の技師会から京都府へ転入会した時から始まりましたので、今年で 54 年の永きに及びました。その中でも思い出深いのは、私が山口大学医学部附属病院から堀川病院に就任しました昭和 39 年 10 月に、当時まだ幹事（現在の理事に相当）でありました小倉先生に京放技におけるノウハウを、実にきめ細かくご指導いただきましたことです。今でも克明に記憶に残っています。良い思い出となりました。

先生は役職を退かれてからも技師会の行事にはほとんど参加されました。中でも定例の研修会には、85 歳を超えてからも積極的に出席される熱心な姿に感銘を受けていました。先生はお酒は殆ど飲めない体質でしたが、懇親会などには積極的に参加され「飲めないお酒の乾杯役」を頻繁にお引き受けになり、私はその乾杯音頭のお姿を何十回となく眺めていました。

顧みますれば、私が技師会活動をご一緒した今津博先生・森信一先生・石山忍先生・矢野善四郎先生、それに今回の小倉佐助先生と次々に良き先輩を失い、さびしい限りです。

語ればキリがありません。哀悼の気持ちでいっぱいです。

小倉佐助名誉会員・享年 95 歳。お世話になりました。そしてありがとうございます。心から、御冥福をお祈り申し上げます。 合掌

西南地区 小林 徹

先生の逝去を知ったのは 1 月末です。半年程前、とある例会でお会いした折「あれだけお元気にしておられたのに何で」と思う気持ちでいっぱいでした。

最初にお会いしたのは、当時専修学校の実習病院だった桂病院です。技師長でありながらアクティブに動き回られる印象でした。卒業後も同級生がいた関係で何回かお会いしました。しかし、私に接する態度は学生時代と変わっておられません。

不勉強な私は滅多に行かない研修会も先生は聴講されており、国立京都病院にいた時、国立療養所の友達がぼやいていたのを覚えています。彼が断層撮影についての研究発表で、京都の小倉さんに質問攻めにあって困ったと。それだけ学術面も勉強されているのだと感銘を受けました。また、人望・情熱・行動力が技師会会長の要職にまで押し上げられたのだと思っています。

いまある技師会の基礎を創られた数少ない 1 人であると言えるのでしょう。

私は転勤で何ヶ所かの施設に異動しましたが、その間、先生とのコンタクトは途切れています。定年退職後、技師会内の久寿会でお世話になりましたが、温厚な性格はそのままでした。

小倉先生はその人生を人として、技師として、全力で生きてこられたと考えます。

ご冥福を心からお祈り申し上げます、と同時に技師会を優しく見守っていただけていると思っています。

## 平成 30・31 年度地区理事候補者の選挙に関するお詫び

平成 30 年 3 月 1 日

会員各位

公益社団法人 京都府放射線技師会  
選挙管理委員会委員長 澤田 保雄

平素より会員各位におかれましては、京都府放射線技師会の発展にご尽力を賜り誠にありがとうございます。

さて、今般技師会ニュース 2 月号で平成 30・31 年度地区理事候補者の選挙に関する告示に関連をして、選挙投票用紙、地区被選挙者名簿を会員各位に発送を致しましたが、4 地区（西地区・東地区・南地区・両丹地区）にて、地区被選挙者名簿の裏面に、他の地区の被選挙者名簿が記載されている不手際が発生しました。不手際発生後、速やかに訂正版を有権者の皆様にお送りを致しましたが、この不手際により有権者の皆様には、大変な混乱を招く事となり、誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。今後はこのような不手際が発生しないよう管理運営をして参ります。尚、投票集約におきましてはこの事案を鑑み対処を致す所存です。何卒ご理解のほど、宜しくお願い致します。

今回の不手際に対して関係各位の皆様には、重ね重ね深くお詫びを申し上げます。

## 学術大会 & 府民公開講座報告

学術理事 後藤 正

テーマ：「いつまでも元気に“歩く”ために」～膝関節痛・・・関節の状態が変わる治療～として府民公開講座、また、学術研修会として特別講演、一般演題の発表がおこなわれました。

一般府民を招いた府民公開講座は一般参加者が過去最高の 101 名、学術研修会では技師会員 64 名、非会員 6 名、合計 172 名の参加者となり大盛況でした。実行委員の皆様大変お疲れ様でした。下記に講演の報告を記します。

### 講演 I：自立した生活を続けるために ～ロコモの予防と対策～

講師：医療法人社団育生会 京都久野病院

リハビリテーション科主任 柴田 拓哉 先生

理学療法士 正野 隼也 先生

日本は長寿国ですが、健康な状態で暮らせる「健康寿命」と「平均寿命」の間には、男性約 8.8 年・女性約 12.3 年と、10 年前後の差があります。つまり、その間は何らかの助けを受けながら暮らさざるを得ません。現在、厚生労働省は地域包括ケアシステムの構築をすすめています。地域包括ケアシステムとは、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みのことです。しかし、要介護状態とならないようにできる限り「健康寿命」を伸ばしたほうが良いのではないのでしょうか。

昨今、フレイル・サルコペニア・ロコモティブシンドロームといった概念が提唱されています。これらはそれぞれ違う概念ではありますが、筋肉量の減少やそれに伴う活動性の低下などといった共通する部分もあります。筋肉量の減少やそれに伴う活動性の低下などといった症状は、加齢により出現しやすいものです。これは、要介護状態となる



演台にて実演する正野先生(右)と説明する柴田先生

原因のひとつでもあります。

加齢は止められません。だからこそ将来に向けて、いまから「貯筋」することが重要です。今回は、日常生活の中で行える運動をご紹介します。運動習慣を維持し「健康寿命」を伸ばしましょう。安全に運動をおこなうポイントは血圧、呼吸を管理しながら自分の体力に合っていること、運動前には呼吸を意識してストレッチをおこなうこと。身体活動に支障をきたすようなことがあれば医師に相談することなどがあげられる。講演では実際の運動方法を実演で紹介される。

## 講演 II：元気に生きるための最新の膝治療 ～人工関節を入れない方法～

講師：医療法人社団育生会 京都久野病院

整形外科副部長 梶川 佳照 先生

超高齢社会にある日本において要介護・要支援の原因の20%以上を運動器疾患が占めています。平成19年に日本整形外科学会はロコモティブシンドローム(ロコモ:運動器疾患により要介護になりかけている状態)を提唱しており、ロコモの予防とコントロールが健康寿命の延伸に不可欠です。変形性膝関節症の予防、治療がロコモ予防です。



変形性膝関節症の代表的な手術加療としては人工膝関節置換術(人工関節)と膝周囲骨切り術が挙げられ、近年それぞれの方法、成績は飛躍的に進化しています。除痛効果に優れ、長期成績が安定している膝の人工関節は国内で年間8万例を超えます。特に人工膝関節単顆置換術(部分人工関節)は最も低侵襲な(身体の負担の少ない)人工関節といわれ、徐々に国内でもシェアを伸ばしています(全人工膝関節の約8%、平成26年)。一方で膝の人工関節の患者満足度が股関節の人工関節に劣ることが問題視されています。そもそも手術は保存加療(手術以外の方法)を徹底した上での最終手段ですが、変形が進行し人工関節しか方法がなくなる前に、関節が温存され、より低侵襲な骨切り術を選択することが満足度の向上につながり、現在取りうるシンプルな選択肢と考えます。残念ながら日本において、骨切り術は人工関節の10分の1ほどしか施行されていません。当院ではスポーツ、山登り、農業従事など活動性の高い方には高齢であっても積極的に各種骨切り術(脛骨、大腿骨、両方同時)を適応としており骨切り術の症例数は人工関節と同程度になっています。昨今の骨切り手術法の進歩によって将来的な人工関節までの時間稼ぎに留まらず、一生人工関節を受けずに自然な膝と付き合っていける可能性も期待できます。元気な方がさらに元気に毎日を過ごすために、有効な治療であると信じる様々な骨切り術の詳細に触れつつ、これからの日本の医療体制の中でますます重要になる変形性膝関節症治療について紹介する。高い活動性が維持できる骨切り術、早期に回復でき、安定し良好な長期成績がある程度保障されている人工関節、今の膝の状態と痛みの強さ、どこまで回復したいかという本人の価値観を考えた上でいろいろな治療法を選択することが重要だと考える。

## 特別講演：「平成30年度診療報酬改定の方向性とJART・JIRAの取り組みについて」

講師：(一社)日本画像医療システム工業会(JIRA)&(株)根本杏林堂 鍵谷 昭典 様

これからの医療提供体制は高度急性期から回復期へベッドを移動しようとする流れがある。

各都道府県が地域医療構想を描き、この4月から医療と介護の同時改定、第7次医療計画、第7次介護保険事業計画、第3次医療費適正化計画をスタートさせる。

国政は地域医療構想を実現するために知事の権限を強化し、具体的な知事からの支持のもとで徹底した病床管理と医療報酬情報をオンライン化することに取り組んでいる。また、病床機能報告制度の中に高額医療機器の設置状況の報告を義務付けている。その流れで「構造設備、人員配置等に関する項目」の中に診療放射線技師という名前が初めて登場する。これはきわめて重要なことである。また、医療法の見直しもなされ、厚生労働省は医療計画において CT、MRI 等の医療機器を所有する診療所に対する当該機器の保守点検を含めた医療安全の取組状況の定期的な報告を求めるとしており、今後は病院にも及んでくる。医療機器の安全対策はどんどん厳しくなっていくであろう。施設基準や診療報酬において診療放射線技師の名称が載る可能性も十分考えられ、載るかどうかがきわめて重要な課題と思われる。

30 年度の改定においては診療報酬全体において -1.19%、薬価に関してはずっとマイナス、介護報酬は +0.54% となっている。医療連携、在宅医療の推進が掲げられ、遠隔診療のオンライン技術や AI 等が診療報酬への組み込みが検討されている。

1 月 15 日の医療技術分科会において診療報酬改定において優先度の高い技術画像加算について紹介する。画像診断管理加算 4 をはじめとして、MRI、CT、RI などを通じた手術支援やナビゲーションや放射線治療等多く検討されている。

医療安全管理に関しては専従の医師の配置を進め、加算項目として掲げられる。医師が関与することにより高度な医療安全体制に係る指標としている。

AI に関しては 2020 年以降になると思われる。画像のデータベース作成とビッグデータの活用により AI を更に推進していくが、まだ時間がかかるかもしれない。

日本診療放射線技師会からは診療報酬改定に向けて医療技術の診療報酬上の評価をするよう嘆願書が出されている。その中には医療安全、画像精度管理、在宅撮影、各種加算の施設要件などが書かれ、診断支援の重要性を掲げている。これら要望に応えられるような改定を願う。

## 第 29 回近畿地域放射線技師会囲碁大会報告

厚生委員会

去る 1 月 21 日兵庫県放射線技師会担当により神戸市内の兵庫県民会館にて選手、役員、応援、スタッフ等 60 数名が集い開催されました。

地元兵庫県放射線技師会会長の挨拶に始まり、近畿地域理事の兵庫県技師会長の言葉（全国に誇れる地域の連帯と結束、しかし野球は若返りが進むも囲碁は高齢化）はユニークでも的を得た話しであった。

そして競技説明が兵庫県チームの主将よりなされ、試合開始です。

白熱の対局を繰り広げた結果、今回は大阪府チームが見事に優勝を飾りました。

京都府チームは力及ばず今年は 4 位でした。尚、敢闘賞は金津武弘選手が選出されました。以下は団体と個人の結果です。

### 各府県チーム成績

(団体の部)

優勝	大阪府	3 勝 1 敗	(16 勝 4 敗)
準優勝	和歌山県	3 勝 1 敗	(15 勝 5 敗)
3 位	兵庫県	3 勝 1 敗	(14 勝 6 敗)
4 位	京都府	2 勝 2 敗	(11 勝 9 敗)
5 位	奈良県	1 勝 3 敗	(5 勝 15 敗)
6 位	滋賀県	0 勝 4 敗	(0 勝 20 敗)

### 京都府チーム出場選手成績

(個人の部) 次回持ち点

金津 武弘	(244)	3 勝 1 敗	(248)
荒木 信義	(242)	3 勝 1 敗	(246)
小林 徹	(236)	2 勝 2 敗	(236)
江南 伸治	(238)	1 勝 3 敗	(234)
森江 彰	(220)	2 勝 2 敗	(220)

## 創立 70 周年記念事業

### 「公益社団法人京都府放射線技師会ロゴマーク」募集要項

#### 1. 趣旨

京都府放射線技師会は昭和 23 年に「診療放射線業務従事者の職業倫理を高揚するとともに診療放射線技術の向上発達を図り、もって府民保健維持発展に寄与することを目的とする」をもとに設立されました。平成 24 年には公益社団法人の認定を受け、放射線技術学の向上ならびに府民の健康増進に貢献してまいりました。そこで設立 70 周年を迎え、公益社団法人京都府放射線技師会のイメージをわかりやすく表したロゴマークを公募します。

#### 2. 募集内容

当技師会をイメージした分かりやすく、親しみのもてるシンボルマーク（図）とロゴタイプ（文字）を組み合わせたロゴマークとして下さい。

なお、ロゴタイプの中に「70」や「70 周年」という文字は記載しないでください。

#### 3. 応募資格

公益社団法人 京都府放射線技師会会員  
(平成 30 年 8 月 31 日に会員籍を有するもの)

#### 4. 応募期間

平成 30 年 3 月 1 日～8 月 31 日

#### 5. 応募作品の規格等

(1) 応募作品の作成方法は、手書き、電子データを問いません。

(2) 応募作品はカラー、単色のいずれでも構いません。ただし使用は単色の場合を想定してください。またポスター、パンフレット、名刺等の印刷物の他、ホームページなど様々な用途やサイズの使用も考慮してください。

#### 6. 応募方法

(1) 手書きの場合、この京放技ニュース 3 月号に同封されている「公益社団法人京都府放射線技師会ロゴマーク応募用紙」で応募してください。電子データの場合、氏名、会員番号、所属地区、住所、電話番号、電子メールアドレスを付随してください。

(2) 郵送の場合は、封筒に「ロゴマーク応募」と朱書きの上、応募作品を下記応募先まで郵送してください。電子データを保存した CD-R 等で提出する場合は、作品のデジタル画像 (JPEG 形式又は GIF 形式。容量 3MB 未満) を CD-R 等入れてください。またホームページ上の応募用紙に必要事項を記載し同封してください。

(3) 電子メールの場合は、件名を「京都府放射線技師会ロゴマーク応募」とし、必要事項を記載した応募用紙と作品のデジタル画像 (JPEG 形式又は GIF 形式。容量 3MB 未満) を添付して、応募先メールアドレスまで送信してください。

#### 7. 表彰

最優秀賞 1 点 (表彰状、記念品)

#### 8. 選考方法

70 周年記念事業委員会の意見も踏まえ、ロゴマーク選考委員会で審査し、受賞作品を決定します。

## 9. 結果発表

平成 30 年 10 月 1 日発刊の京都府放射線技師会ニュースに掲載して発表します。  
なお平成 30 年 10 月 27 日(土) 開催の当会設立 70 周年記念式典において表彰式を行います。受賞者には表彰式の出席を依頼します。  
受賞者以外の応募者へは、当会ホームページへの掲載を以て結果通知とさせていただきますことをご了承願います。

## 10. 留意事項等

- (1) 応募に係る費用は全て応募者の負担とします。
- (2) 応募作品・応募用紙は、採用、不採用に関わらず返却いたしません。
- (3) 最優秀作品を採用作品としますが、必要に応じて一部補正を行う場合があります。
- (4) 応募作品は応募者が制作したオリジナル作品で、他の作品と同一または類似していない未公開作品とし、他のコンテストに応募したことがない作品に限ります。
- (6) 採用作品に関する全ての著作権（著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含みます。）、商標権、その他一切の権利は当放射線技師会に帰属するものとします。また、応募者は採用作品に関し著作者人格権に基づく権利行使を行わない事とします。
- (7) 応募作品に著作権等に関わる問題が発生した場合は全て応募者の責任となります。
- (8) 受賞作品が他者の権利を侵害すると判明した場合、その他の本募集要項の規定に違反していることが認められた場合は、結果発表後であっても受賞を取り消すものとします。

## 11. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 今回の募集に際して応募者から取得した個人情報については、本公募に係る事務以外の目的に使用することはありません。
- (2) 受賞者発表の際には、お名前を公表させていただきます。

## 12. 問い合わせ・応募先

公益社団法人京都府放射線技師会「京都府放射線技師会ロゴマーク」係  
〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ 1F  
Tel & Fax : 075-802-0082  
メールアドレス : kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp  
公益社団法人京都府放射線技師会ホームページ : <http://www.kyohogi.jp/>

## 学遊会参加者募集中！！

厚生委員会・組織調査委員会合同

共に学び、遊び、絆を深めることを目的とした学遊会を友愛の丘にて行います。

楽しいゲームなどの企画もしますので、多くの参加をお願いします。

日程：平成 30 年 3 月 25 日(日) 11 時 JR 奈良線 長池駅集合

場所：友愛の丘（京都府城陽市寺田南中芝 80）

なお、詳しい情報は 2 月号京放技ニュース及びホームページで確認して下さい。

申込みは京放技事務所に電話もしくは右記 QR コードからお願いします。



**第10回理事会報告**

平成30年2月9日

議長に山根理事、書記に浦理事を選任し午後7時より議事開始

**I. 経過報告及び計画に関する件****1) 経過報告および計画 河本会長**

(経過報告)

- 1月7・8日 業務拡大に伴う統一講習会 (京都第二赤十字病院)
- 1月13日 大阪互礼会 (大阪第一ホテル)
- 1月20日 京都私立病院協会新年会 (京都ブライトンホテル)
- 1月21日 平成29年度近畿地域診療放射線技師会囲碁大会 (兵庫県県民会館)
- 2月1日 学術委員会 (京放技事務所)
- 2月4日 京都府放射線技師会学術大会・府民公開講座・新春の集い (京都ホテルオークラ)
- 2月9日 京放技第10回理事会 (京放技会議室)
- 2月10日 平成29年度近畿地域診療放射線技師会第2回会長会議 (西神オリエンタルホテル)
- 2月11日 平成29年度近畿地域診療放射線技師会学術大会 (神戸大学医学部附属病院)
- 2月22日 70周年記念式典の打合せ (京都ブライトンホテル)
- 3月10日 京放技第11回理事会 (京放技事務所)
- 3月16日 原子力被ばくネットワーク会議 (京都リサーチパーク)
- 3月25日 京放技学遊会 (友愛の丘)
- 4月7日 平成29年度期末監査 (京放技事務所)
- 4月14日 平成30年度京放技第1回理事会 (京放技会議室)
- 4月28・29日 業務拡大に伴う統一講習会 (京都医療センター)
- 5月6日 定例研修会、通常総会、第2回理事会 (京都テルサ)

**2) 各委員会報告及び計画****【庶務】 皿谷理事**

- ・会員数 1月31日現在555名(先月+2)
- (内訳) 名誉会員4名、正会員526名、賛助会員25社  
新入会3名、物故者1名  
※平成29年度新入会累計28名(再入会1名含む)
- ・1月5・20・28日 委員会開催 (京放技事務所)
- ・対外文書81件、発刊文書1件(1月1~31日)
- ・新卒入会1名、転入会1名を承認

**【財務】 渡里理事**

- ・会費納入状況(平成30年1月1日現在)  
平成29年度会費納入者473名(90.1%)  
平成28年度会費未納者6名(1%)
- ・会費30万円入金
- ・1月5・30日 委員会開催 (京放技事務所)

**【学術】 後藤理事**

- ・2月1日 学術委員会開催 (京放技事務所)
- ・2月4日 学術大会&府民公開講座 (京都ホテルオークラ)
- ・2月11日 近畿地域診療放射線技師会学術大会予定 (神戸大学医学部附属病院)

**【編集】 中島理事**

- ・1月10日 広告願いを各理事へ発送する手配 (京放技事務所)
- ・1月26日 2018年2月号ニュース校了
- ・2月19日 3月号ニュース編集予定

**【広報・渉外】 新井理事**

- ・1月13日 京都市福祉ボランティアセンターあいさつ/府民公開講座チラシ差し替え
- ・1月26日 第44回くらしと健康展報告書を修正し提出
- ・2月1日 「無資格者による診療放射線技師業務の防止に関する要望」発刊し関係機関へ提出
- ・2月4日 府民公開講座にて一般演題の共同での座長
- ・2月6日 第53回京都病院学会実行委員会開催 (京都私立病院協会会議室)
- ・3月6日 第53回京都病院学会行委員会/プログラム編成委員会開催予定 (京都私立病院協会会議室)
- ・平成29・30年度京都府補助金関係報告書製作予定
- ・地区理事に病院学会準備委員選出要請

**【組織調査】 浦理事**

- ・1月15日 学遊会案内・アンケート結果ホームページ掲載依頼
- ・1月26日 南地区委員会出席
- ・2月13日 西南部地区委員会出席予定
- ・3月25日 学遊会(BBQ)開催予定 (城陽市友愛の丘)
- ・学遊会の参加申込受け中にて広報及び申込み要請
- ・北地区班編成を見直し
- ・ロゴマーク選考委員会から募集要項及び3月号ニュース掲載予定

**【厚生】 中川稔章理事**

- ・1月21日 近畿地域診療放射線技師会囲碁大会参加(兵庫県県民会館)
- ・2月4日 新春の集い開催 (京都ホテルオークラ)
- ・3月25日 学遊会開催予定 (友愛の丘)
- ・組織・調査委員会と合同企画
- ・野球道具の追加購入を三役預かりで検討する
- ・囲碁大会で使用している対局時計の購入を承認

・毎年、総会後にOBや委員も含めて懇親会を開催していたが、今後はそれを止めて新春の集いのみの開催にするので理事も委員もなるだけ参加するよう要請

**【情報】 大西理事**

- ・1月19日 ホームページのトップページを更新
- ・1月26日 南地区委員会に参加
- ・2月4日 府民公開講座&第568回研修会に参加
- ・2月5日 ホームページのトップページを更新
- ・2月13日 西南部地区委員会に参加予定
- ・ホームページ上の会員用パスワードを京放技ニュースに掲載し、それをホームページに掲載するときにはパスワードは消す。冊子として会員に配布した京放技ニュースにのみ掲載することに。三役と情報委員会で運用を考える。

**【管理士】 山根理事**

- ・2月11日 近畿地域放射線・機器管理士会議出席予定 (兵庫県神戸市)

**【両丹学術】 橋岡理事**

- ・1月11日 近畿地域診療放射線技師会学術大会の広報  
・広告掲載関連企業連絡
- ・2月2日 両丹地区総会出席
- ・2月4日 第569回京放技研修会・府民公開講座参加予定
- ・2月11日 近畿地域診療放射線技師会学術大会出席予定

**【受賞者選考委員会】 河本会長**

・日放技からの勤続30年表彰推薦者の可否連絡待ち

**II. 地区経過報告及び計画に関する件****1) 【北地区】 丹後理事**

- ・1月12日 計報連絡
- ・1月22日 新春の集い 地区会員の出席確認
- ・1月30日 計報連絡
- ・2月5日 次期理事投票のお願い 全てメールにて配信
- ・3月中に第3回北地区委員会開催予定

**2) 【中地区】 楡理事**

- ・1月11日 近畿学術大会の詳細案内を配信
- ・1月11~29日 地区委員会開催調整連絡(4回)
- ・1月19日 病院学会の準備委員の募集を地区委員に配信
- ・1月21日 近畿地域診療放射線技師会学術大会に参加
- ・1月23日 学遊会のお知らせを配信する  
地区委員に新春の集いの参加確認メールを配信する
- ・1月29日 新春の集いの参加確認を厚生理事に報告する
- ・1月31日 病院学会の準備委員2名、広報理事に報告する
- ・2月1日 地区委員会の開催連絡を行う
- ・2月2~4日 診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会に参加
- ・2月4日 第2回地区委員会開催  
府民公開講座・学術大会に出務・参加
- ・2月11日 近畿地域診療放射線技師学術大会参加予定
- ・放射線技師のための超音波検査の実技を含む講習会を技師会主催で行ってほしいと地区委員会で要望があった。

**3) 【東地区】 中川政幸理事**

- ・1月11日 京都府放射線技師会学術大会、近畿地域診療放射線技師会学術大会へ参加、広報依頼
- ・1月23日 新春の集い参加確認依頼
- ・2月4日 京都府放射線技師会学術大会終了後、東地区委員会  
・連絡網をメーリングリスト化へ準備中

**4) 【西地区】 平井理事**

- ・1月11日 地区連絡網メールにて「新年あいさつ」、「近畿地域診療放射線技師会学術大会」案内
- ・1月12日 地区連絡網メールにて「計報連絡」
- ・1月22~26日 西地区委員へのメールにて来期理事・委員相談
- ・2月1日 地区連絡網メールにて「京都府放射線技師会 学術大会」案内
- ・2月4日 「京都府放射線技師会 学術大会 及び府民公開講座」参加  
・西地区委員へのメールにて「地区理事選挙のための地区会員名簿」不備に対するお詫び

**5) 【南地区】 若畑理事**

- ・1月26日 第3回南地区委員会開催
- ・2月4日 府民公開講座、第569回研修会、新春の集い参加
- ・2月11日 近畿地域診療放射線技師学術大会参加予定

**6) 【両丹地区】 小川理事**

- ・1月12日 第4回両丹地区委員会開催
- ・2月2日 両丹地区冬季研修会、新年会開催(参加27名)
- ・2月4日 京都府放射線技師会学術大会参加  
両丹地区発表(舞鶴共済病院 池田雄士)

**7) 【西南部地区】 松本理事**

- ・1月20日 地区委員会の日程調整をメールにて送信
- ・2月1日 地区委員会開催の案内をメールにて送信
- ・2月13日 第2回西南部地区委員会を開催予定  
西南部地区情報交換会を開催予定

## III. その他

## 1. 選挙管理委員会報告 (澤田選挙管理委員長)

京放技ニュース 2 月号で平成 30・31 年度地区理事候補者の選挙で発送した地区被選挙者名簿が 4 地区 (西地区・東地区・南地区・両丹地区) で他地区の被選挙者名簿であった不手際が発生。2 月 3 日に訂正版を発送。

今後は選挙管理委員会が関係する印刷物の内容確認・発送確認などを、事務担当者を含め複数人で確認をするように関係者と協議改善予定。

## 2. 府民公開講座総括 (河本会長)

メディアでの紹介で一般市民参加が多かった。今後もこの調子で運営していこうと思っている。

## 3. 役員旅費、講師料等規程、慶弔内規、印章規程改訂 (河本会長)

印章管理規程新設、慶弔内規・講師料支払規程改訂を承認。

京都府に内容を確認していただき、総会にて報告します。

また、会費納入規程の「大学院卒業者の新入会」については第 3 章会費の免除 3、8 条 3 で明記されていますので改訂はなし。

役員報酬等に関する規程は第 8 条を「交通費は 50km 以上では 1 日あたり 6,000 円とする」に改定することとして京都府立入検査時に承認をいただきましたので、まずは、この内容で確定し、今後「実費」に改訂を考えます (京都府の承認が必要)。

## 4. 平成 30 年度事業計画案、予算案 (河本会長)

平成 30 年度事業計画案、予算案を承認。

## 5. 備品購入について (久保田副会長)

会議室のエアコン、事務所のデスクトップパソコン、ノートパソコン、研修会用のプロジェクター、事務所前の看板の新規購入を承認。

以上、各議案について採択し承認された。

(文責：蒲)

## 編集後記

小倉佐助名誉会員が亡くなられた。小倉先生は昭和 28 年から京放技の役員を担っておられましたが、昭和 28 年がどんな年かという、首相はあの吉田茂。診療エックス線技師試験が初めて行われる。モノクロテレビが発売され NHK が放送を開始。通貨の銭が廃止。翌 29 年にはアメリカのビキニ環礁水爆実験で第五福竜丸船員が被ばく。自衛隊が発足。小倉名誉会員はこの時代に誕生されたのではなく、社会人として活躍されていたのだ。歴史の教科書に記載されている時代から役員をされていたのに、つい先日まで京放技の研修会には最前列で参加されていた。引退されていたので研修会で勉強する必要はないはずであるが、イベントを盛り上げるために参加されていたのであろう。親睦会では乾杯の音頭役として「今年で 92 になりました！」と年齢報告がお決まりで、初めて小倉名誉会員を見る若い参加者からはどよめきの声が上がっていた。そのどよめきを、毎回、嬉しそうに感じておられるようでした。御子息は技術学会の会長をされているように、親子で診療放射線技師の未来を切り開いておられる。京都府放射線技師会と診療放射線技師という職業をさらに価値あるものへと押し上げていくことこそが小倉名誉会員への追悼となることであろう。合掌。

編集委員長 中島 智也

## ▶ 3 月以降の京放技活動

3 月 25 日(日) 学遊会 (バーベキュー)	城陽市友愛の丘
4 月 28・29 日 業務拡大に伴う統一講習会	京都医療センター
5 月 6 日(日) 第 570 回研修会、第 71 回通常総会	京都テルサ

## ▶ 3 月以降の京都府以外での近隣講習会

予定はありません

## 会 員 異 動

【新卒入会】 1 名

【転入会】 1 名

米田 和夫 北区在住 (北 1) 名古屋大学大学院研究科

【物故】

新井 喬 御尊父 1 月 7 日御逝去

小倉 佐助 名誉会員 (西 4) 1 月 30 日御逝去 ご冥福をお祈りいたします。合掌。